

## 長岡市長記者会見要旨

日 時：令和2年3月12日（木）午前9時30分から

会 場：アオーレ長岡東棟4階 大会議室

【会見項目1：国の緊急対応策をいち早く市内事業者に波及

「新型コロナウイルス感染症経済対策連携会議」を開催】

（長岡市長）

本日の午後、「新型コロナウイルス感染症に関する経済対策連携会議」を開催します。

長岡市は、2月28日に「新型コロナウイルス感染症対策融資」の取り扱いを開始し、相談窓口を設置しました。現在、毎日10件程度の相談が寄せられている状況の中、3月10日に国が緊急対策を発表しました。

これらのさまざまな支援策を市内の事業者が活用できるよう、金融機関、商工会議所等の関係者が一堂に会して情報交換するため、この会議を開きます。

長岡商工会議所、市内の12商工会、市内の金融機関から参加いただきまして、政策金融公庫長岡支店、県信用保証協会の長岡支店、ハローワーク長岡がそれぞれの支援制度について説明するほか、相談を受けます。

この支援制度の説明のほか、各機関に寄せられている現状の声や要望の情報交換を行い、それをもとに、長岡市、各機関の今後の対策に生かします。

会議の終了後は、支援制度の内容を市のホームページに専用ページを作って周知します。

（記者）

新型コロナウイルスの長岡市の経済への影響は、どのように受け止められていますでしょうか。

（長岡市長）

長岡市は、まだ陽性者が出ていない状況です。

しかし、いろいろな会合やイベントが、中止や自粛となっています。そういう意味では、人の動き、流れがぴたっと止まった感じがします。

また、流通、物販、飲食、観光、あるいは、住宅関連では衛生機器が入らないためになかなか引き渡しができないといったものに至るまで、相当な影響が出ているという声も聞いています。

中国の工場が動き始めたといっても、以前に戻っているわけではなく、その影響が続くという見方もありますので、この先、予断を許さない状況だと思っています。

（記者）

市の窓口で毎日10件ほど問い合わせがあるとのことですが、どのような業種が多いのでしょうか。

(産業支援課長)

一番多いのは飲食業です。その次が卸業です。あと、美容業が少し増えてきた状況です。

(記者)

飲食業の方からはどういった問い合わせがあるのでしょうか。

(産業支援課長)

制度融資の使い方、特に国の制度に該当するのか、証明はどのように取ればいいのか、などの問い合わせがあります。また、どの金融機関に相談するといったのか、などの相談も多く感じています。

(長岡市長)

新型コロナのタイミングよりも前に問題になっているのは、栃尾の繊維業界に暖冬の影響があったということです。

冬物衣料の動きがぱたっと止まって、在庫を抱えて大変だと。そこにこの新型コロナの問題が出てきて、消費関連が冷え込んでいることが重なってきたという話は聞いています。

(記者)

長岡市の経済への影響は、感染拡大の防止に必要な方策以上に自粛が進んでいるとお考えでしょうか。

(長岡市長)

まだ感染者が市内で出ていない中で、感染拡大を防止するためにどこまで人の動きを止めたらいいのか、正直悩むところです。

しかし、新潟市を中心に、新潟県内も連日のように少しずつ広がっていることは事実ですし、国もここが正念場という言い方で自粛期間を延ばしているわけです。

そういう意味では、局地的にそこが安全であればいいというより、日本全体、新潟県全体で感染の拡大が防止されることが、長岡の安全にもつながると考えます。

ここはやはりしっかりと、長岡市に感染者が出ないように、たとえ出たとしても、それが広がらないように、対応していくべきだと思います。

経済的な影響を受けている方々にとっては大変つらい状況かと思いますが、少なくとも3月いっぱいこうした自粛を、続けるべきだと私は考えています。

(記者)

国から学校の臨時休校を要請されて、長岡市はすぐに対応されました。その直後には、柔軟に対応してもよい旨の方針が示されました。もし最初の要請が、各自治体において必要な方策を取るよう要請されたものだったら、臨時休校はされていたでしょうか。

(長岡市長)

それは、違う判断をした可能性はあります。感染者が出たら、その周辺の動きを止める、自宅待機

や検査などの対策を取っていくのがセオリーかと思います。

ですから、安倍総理が要請されたときは、その効果はいかほどかわからない部分もありましたが、全国的に取り組もうという動きになったので、そこは長岡市としても応じたわけです。ですから、いつ学校の再開ができるのか、常に考えています。

ただ、政府からは自粛の延長という話も出ているし、感染者が広がっている、あるいはWHOがパンデミックだと言っている中では、学校の休校も含めて、自粛を持続すべきだと考えています。

(記者)

学校再開などは、政府の見解が示されることがキーポイントになりそうですか。

(長岡市長)

それは一つの大きなきっかけになると思います。

ただ、ひたすら自粛して動きを止めて感染の拡大を防ぐだけでは、市民生活も国民生活も大変なことになりますので、どこかで感染防止と市民生活を維持していくことを両立しないといけないと考えています。

感染防止の手段は尽くしながらも、再開できるものは再開し、活動できるものは活動していくと。できるだけ普段の生活を取り戻していくことが大切です。そのタイミングは、慎重に見極めたいと思っています。

(記者)

政府の見解が一つのキーポイントだが、長岡市は長岡市の状況を見て、最終的には市長が判断されるということでしょうか。

(長岡市長)

そのとおりです。

## 【会見項目 2 : 令和 2 年度 4 月 1 日付け人事異動について】

(長岡市長)

4 月 1 日付けの人事異動を発表します。

長期在課者の配置換えや若手職員の人材育成のための人事ローテーションは昨年10月に先行して行い、今回はその2回目です。規模としては前年比で33人減の721人で、例年と比較してそれほど突出して大きな規模ではありませんが、昨年の10月とセットで考えると、相当積極的な人事ローテーションを実施したと捉えています。

まず、子ども未来部長、文化振興課長、会計課長、中央図書館長に女性を登用しました。積極的に女性の力を使っていきたいと思っています。

次に、大手通の坂之上町地区の市街地再開発事業を担当する「中心市街地整備室」の室長に、谷畑

土木政策調整課長を登用します。そして、その次長に五十嵐ながおか・若者・しごと機構推進課長を配置します。「米百俵プレイス」はソフト事業が非常に複雑多岐にわたっていますので、その調整に当たって、できるだけ早く再開発事業の全容を固めたい意図でこのような人事を行います。

3番目は、土木部全体を技術的な面から統括するとともに、これまで以上に災害に強いまちづくりを進めるため土木部に次長を置き、中川道路管理課長を充てます。

4番目は、バイオエコノミーをはじめとしたイノベーション、産業振興あるいは防災・減災対策といった重要施策について、国や新潟県の関係部署に人脈をつくり、仕事をスムーズに展開するため、職員を派遣します。

経済産業省はバイオエコノミー、経済産業省関東経済産業局はイノベーション全般、国土交通省信濃川河川事務所は信濃川の堤防の強靱化をはじめとした防災関連です。

(記者)

女性登用について、部課長の女性登用の前年比を教えてください。

(総務部長)

昨年が13人で、4月1日現在は15人です。部長が3人、課長級職員は12人です。課長級が2人増えました。

(記者)

現在、国や県へ出向している職員は何人いるのでしょうか。

(人事課長)

国の省庁への派遣は、環境省に1人派遣していて、引き続き派遣します。そのほか、今回新たに資料に記載のとおり職員を派遣します。

(記者)

特別職の「イノベーション推進監」と「コンプライアンス推進監」が解かれますが、この狙いを改めてお聞かせください。

(長岡市長)

イノベーションとコンプライアンスの推進は、全庁的に取り組む内容です。職名を付したものを置くのではなく、市長の私がリーダーとなってやるべき課題だという認識で整理しました。

(記者)

今回の新型コロナウイルスでは、職員が少なく対応できないという自治体もあるそうです。長岡市は、今まで人員削減をしてきた経緯がありますが、このような状況の中、今後はどのようにお考えでしょうか。

(長岡市長)

災害対応、さまざまなセーフティーネットなど、行政がやるべき仕事が増えている中、世界基準からいっても日本は公務員が少な過ぎるという意見がある一方で、事務のロボット化やAIの導入によ

って人間がやる事務作業がなくなれば、職員は半分でもいいのでは、という見方もあります。

何が正しいか、なかなか見極めることが難しい状況ですが、私はやはり仕事の効率化を図りながら、求められている行政需要の増加に応えていきたいと考えています。

もしAI化などによって業務の効率化や事務量を減らせる可能性が出てくれば、職員を減らしたいということです。やみくもに減らすことだけが目的ではなく、減らせる状況を作りながら、人件費の総額は抑えていきたいと思います。

(記者)

何人削減、という目標をたてるのではなく、事務作業を効率化する中で、できるものからやっていくということでしょうか。

(長岡市長)

そうです。もちろん、全体として行政コストを下げなければならない状況は理解していますので、人件費総額を抑えていくことは一つの目標としてあります。とはいえ、ただ職員数を減らせばいいということではなく、増えてくる行政需要との見合いの中で、減らせる範囲で減らしていくという現実的な対応をしていきます。

(記者)

昨年4月1日の職員数と、今年4月1日の職員見込み数をお聞かせください。

(行政管理課課長補佐)

平成31年4月1日現在の正規職員数は、2,434人です。令和2年4月1日は、2,405人の見込みです。

(記者)

臨時職員数もお聞かせいただけますか。

(行政管理課課長補佐)

平成31年4月1日時点では、2,008人です。令和2年4月1日は、現在、各課の状況に応じて調整中ですが、同規模程度となる見込みです。

(記者)

以前、市長にお伺いしたことがあります。非正規から正規へという世の中の動きがある中で、どのようにお考えでしょうか。

(長岡市長)

同一労働同一賃金という考え方からすれば、やはり正規、非正規という形があるのはあまり好ましくなく、市役所で働く職員すべてが採用試験を受けて入ってくる職員で構成できれば一番いいのかなと思っています。

ただ、業務の内容によっては、全ての業務を正規職員がこなしていくべきか、議論のあるところです。むしろ、臨時的な雇用よりも民間に委託するとか、ロボットでやるとか、そういった形で整理しながら、最終的には全て正規職員になっていくのが好ましいと思っていますが、相当な時間がかかる

と思います。

(記者)

女性の幹部職員への登用について、13人から15人の2人が増えたということです。ある程度、目標を定めないと、なかなか増えないのではと思うのですが、今後の女性登用の考え方についてお聞かせください。

(長岡市長)

女性が組織の中で男性と同等の役割、働きをしないと、組織は活性化しないと思います。

もっと象徴的に部課長に登用すればいいのではないかという意見もありますが、女性職員は30代から40代にかけて退職者が出て、比率そのものが下がるという状況もあります。

働き方改革も含めて、入庁した女性職員の退職を防ぐことも大きな課題だと思います。それは子育て支援などの施策とセットの問題だと思いますが、そういったものを含めて、5割の比率で女性が入庁したら、幹部職員の5割は女性というのがあるべき姿だと考えていますので、そこに向かっていろんな手を尽くしていきたいと思います。

ただ、私が市長に就任する前と後では、女性の幹部職員数は相当変わってきていると思います。

(記者)

昨年と令和2年4月の新規採用の男女比率をお聞かせください。

(人事課長)

事務職でいきますと、昨年は男性44%、女性56%で、令和2年4月採用は男女とも50%です。技師、消防士、保育士などを含めた全体だと、昨年は男性56%、女性44%、令和2年4月は男性57%、女性43%です。

(記者)

中心市街地整備室の次長と土木部の次長は、新たに設置する職でしょうか。

(長岡市長)

新たに設けた職です。

## 【その他の質問】

(記者)

新型コロナウイルスの感染者が長岡市内で確認された場合は、市長が発表するのでしょうか。

(長岡市長)

新潟市は政令指定都市ですので、保健所の設置者であり、感染者のさまざまな情報を持っています。長岡市の場合は、新潟県が設置する長岡保健所から得た情報をベースに、皆さんに発表することになると思います。

市内における感染拡大の防止対策は、私の責任で行いますので、市内で初めて確認された際は、私が皆さんにお話しするつもりです。

(記者)

新型コロナウイルスの関係で、3月15日まで施設の臨時休館を予定されていますが、その後はどうされるのでしょうか。

(長岡市長)

今月末まで延ばす予定です。

(記者)

施設は増やすのでしょうか。

(長岡市長)

施設はそのままに、自粛期間を今月末まで延ばします。

(記者)

休館施設には子育て施設も含まれていますが、その理由をお聞かせください。

(長岡市長)

子育ての駅は、旧長岡市内の三つの施設を休館していますが、市外からの利用が多く、コントロールが難しいため、臨時休館としました。一方で、支所地域にある施設は、地元の方しか使いませんので、そこは開館してもいいと判断しました。リスクを判断しながら休館しているということです。

(記者)

Bリーグが3月14日から4月1日までの試合を無観客で行うと発表しましたが、市長の受け止めをお聞かせください。

(長岡市長)

スポーツ界全体がこういった自粛という形になっているのはやむを得ないと思いつつも、社会全体、長岡に与える影響というのは非常に大きく、本当に心配です。

4月に解除できたらいいのですが、それが続くとなると、その影響も大きいと思いますので、なるべく早く感染の拡大が収まって、観客の中での試合を再開してほしいと思います。

(記者)

今回、アオーレ長岡での無観客試合が3試合あります。ホーム30戦のうちの1割に当たります。かなり影響が大きいと思うのですが、新潟アルビレックスBBに対する支援は何かお考えでしょうか。

(長岡市長)

現在、支援は特に考えていません。ある特定のものに対する補填ということではなく、再開できるような感染防止策に取り組むことになると思います。

(記者)

長岡市内では日赤病院が感染症指定医療機関になっていると思いますが、市内で感染例が出た場合

の連絡体制はどのようになるのでしょうか。

(長岡市長)

情報は県が集約し、県から来ます。医療機関から連絡が来ることはありません。

(記者)

長岡市は現在、イベントの自粛や施設の臨時休館を行っていますが、仮に市内で感染が確認されたときは、もう一段レベルを上げるなどの対応は具体的に考えていらっしゃいますか。

(長岡市長)

感染者が市内のどこに住んでいるかなどで対応は変わってくると思います。

少なくともお住まいの地域やそのお勤め先などは警戒度を高める措置を取らなくてはならないと思います。それが例えばクラスター的な発生だということになれば、全市的な対応も必要になると考えています。